

## 経営改革ビジョン

大学と社会との間で「知」「人材」「資金」が好循環する経営成長戦略モデルを確立し、「異分野共創研究教育グローバル拠点」として持続的な事業成長を実現する。

### 取組①

社会との共創を実現し、持続的な事業成長を促進する経営体制の実現

- 1) 研究教育を支える事業成長を可能とするためのボード改革
- 2) 産官学連携体制における子会社等との連結一体運営とファンドの確立
- 3) 学長裁量ポイントの活用と多様な財源による若手・女性教員の恒常的ポストの確保
- 4) 経営や研究教育を支える高度専門人材の育成、デジタルトランスフォーメーション (DX) による業務の革新

### 取組②

異分野共創研究による未来社会に向けた新たな課題を解決する傑出した知の創出

- 1) デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパークの核となる異分野共創の研究拠点の連携強化と知の創出
- 2) カーボンニュートラルやWell-beingを実現する共創研究の推進
- 3) 次世代のフラッグシップとなる研究領域の育成と研究基盤の強化

### 取組③

異分野共創教育による新たな価値を創造する次世代の有能人材の創出

- 1) 傑出知を創出する次世代卓越研究者育成システムの構築
- 2) 異分野共創教育を推進する大学院教育体制の改革
- 3) アントレプレナーシップを備えた有能人材の育成

### 取組④

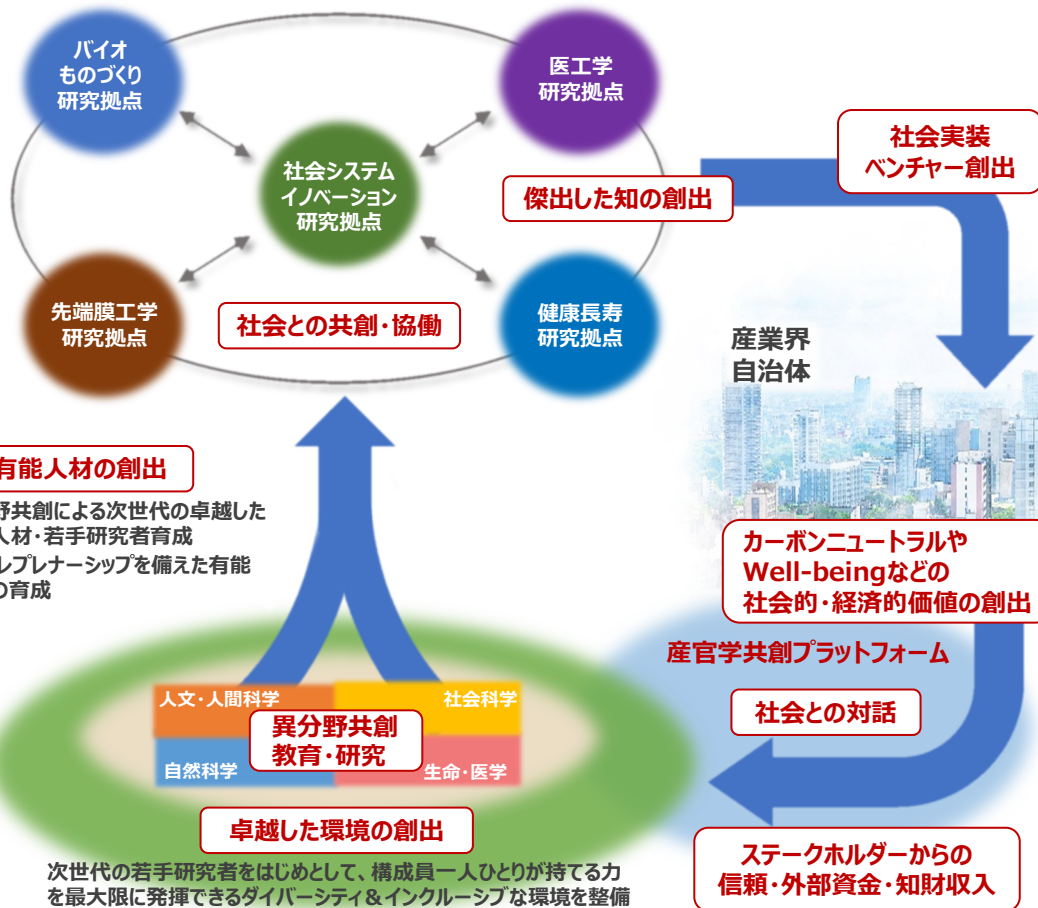
社会との対話・共創に基づく社会実装・価値の創出

- 1) 産業界・自治体と連携したベンチャー（スタートアップ）創出、イノベーションクラスター形成
- 2) 知的アセットのマネタイズを可能とする知財マネジメント
- 3) ステークホルダーとの対話と共創の強化

## 「異分野共創研究教育グローバル拠点」の経営成長戦略モデル （「知」「人材」「資金」の好循環サイクル）

### デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパーク

全学の叡智を結集した産官学が集まる異分野共創の拠点群でイノベーションを牽引



## これまでの実績

- 改革を迅速に意思決定し実行に移すため、学長を室長とする戦略企画室を設置し、改革担当の理事（CCO）及び副学長を任命。
- 戦略企画室員を構成員とする予算委員会と、戦略的事業評価専門委員会を設置し、戦略的リソースアロケーションが可能な仕組みを構築。

## 取組内容

### 1) 研究教育を支える事業成長を可能とするためのボード改革

- 研究教育を支える事業成長を可能とするために、**CFO（最高財務責任者）**を任命するとともに、投資意思決定や資金調達を強化した**全学統合的資金循環マネジメント**を実施する。
- CFOとCCOが各戦略に横串を通すとともに、エキスパート人材や外部アドバイザーを配置し、**知的財産戦略（特に知財“化”戦略）、外部資金獲得戦略**を戦略企画室の**重要課題**として強化する。

### 2) 産官学連携体制における子会社等との連結一体運営とファンドの確立

- 産官学連携本部に**ホールディングス機能**を持たせ、CFOと研究担当理事の下、(株)神戸大学イノベーション（KUI社）や(株)神戸大学イノベーションプラットフォーム（KUIP社）を含めた**連結一体運営**により、子会社等における**スペシャリストの柔軟な雇用**と社会実装を促進する**神戸大学GAPファンド及び神戸大学ファンドの拡充**を実現する。

### 3) 学長裁量ポイントの活用と多様な財源による若手・女性教員の恒常的ポストの確保

- CFOと人事担当理事を中心に、外部資金などの多様な財源から人件費を支出することを含めた**長期の人事計画・財務計画**を策定し、**若手教員の恒常的ポスト**を確保する。
- 若手・女性教員の採用に対するインセンティブシステム**を整備するとともに、その財源を確保する。

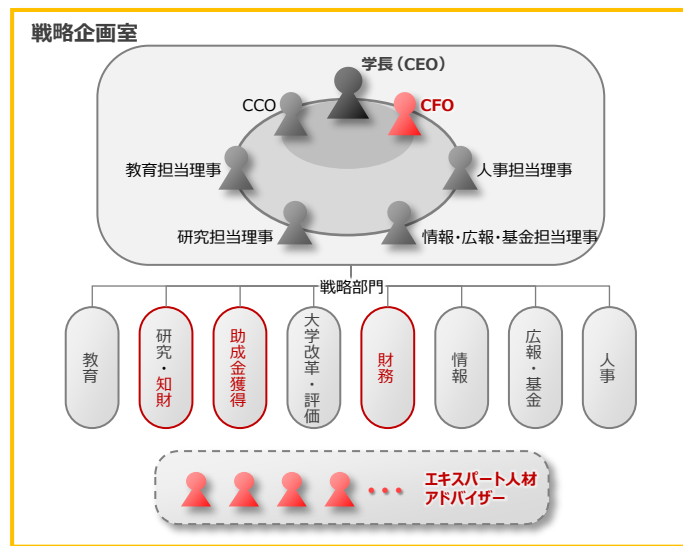
### 4) 経営や研究教育を支える高度専門人材の育成、デジタルトランスフォーメーション（DX）による業務の革新

- 高度専門職である「**政策研究職員**」の**処遇の向上**や将来を見通せる**キャリアパスの構築**などの人事制度の改革を行い、各専門分野の**エキスパート人材を雇用・育成**する。
- DX・情報統括本部を拡充し、全学的な研究教育機能の**拡張・高度化**や業務改革における**DXを促進する基盤を強化**し、経営の効率化を図る。

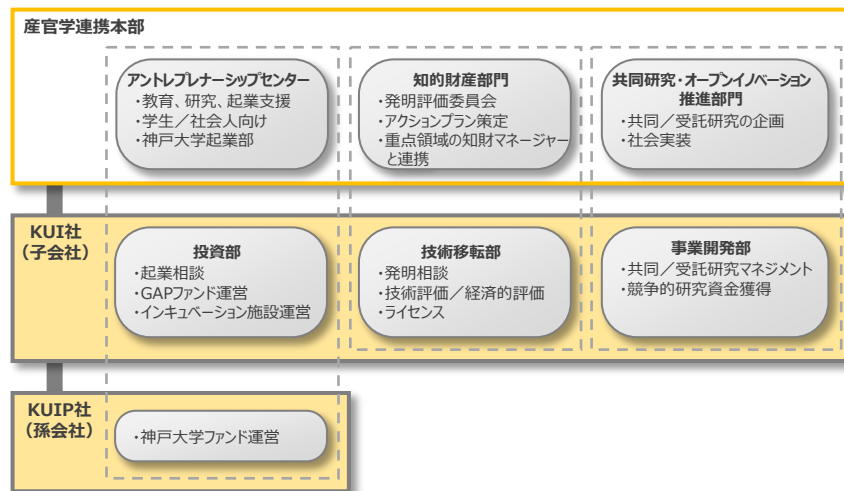
## KPI

- 外部資金獲得額  
〔構想全体のKPIと同様〕  
R4：139億 → R7：158億
- 若手教員比率  
〔構想全体のKPIと同様〕  
R4：19.3% → R7：23.1%

## ボード改革：戦略企画室の強化



## 産官学連携体制における子会社等との連結一体運営



## これまでの実績

- 異分野共創による先端融合イノベーション創出事業「バイオプロダクション次世代農工連携」(事後評価S)、第3期中期目標期間の国立大学経営改革促進事業等でバイオものづくり領域を拠点化。
- 「医工学」「健康長寿」「先端膜工学」をバイオものづくり領域に次ぐ重点領域として、計画的に育成し、拠点化。

## 取組内容

### 1) デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパークの核となる異分野共創の研究拠点の連携強化と知の創出

- 本学のフラッグシップである**重点領域**(バイオものづくり、医工学、健康長寿、先端膜工学、社会システムイノベーション)を**拠点とするデジタルバイオ&リサーチパーク**を開設し、研究費と若手研究者や海外のトップレベルの研究者などを重点配置する。
- ポートアイランド(神戸医療産業都市)に位置する**統合研究拠点**、国際がん医療・研究センター(リサーチホスピタル)、**統合型医療機器研究開発・創出拠点**、**バイオテクノロジー研究・人材育成センター**などにおいて、**産官学が連携して研究を実施**する。
- 最先端科学技術と社会科学やデータサイエンスとの連携**により、社会課題の深層を明確化し、社会的インパクトにつながる研究を推進する。
- 専属のプロジェクトマネージャーやイノベーションクリエーター、事務スタッフによる**コーディネーションオフィス**を設置し、拠点間の相乗的効果を最大化させるよう運営する。

### 2) カーボンニュートラルやWell-beingを実現する共創研究の推進

- カーボンニュートラル推進本部、Well-being推進本部の設置により、**カーボンニュートラルやWell-beingを重視した新たな共創研究**を全学的に推進し、傑出知・総合知を創出する。

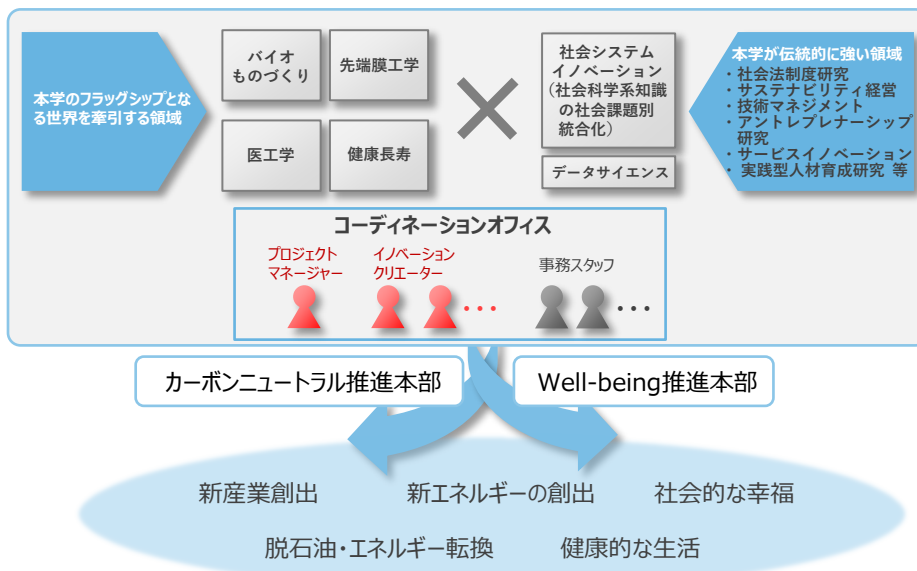
### 3) 次世代のフラッグシップとなる研究領域の育成と研究基盤の強化

- 異分野共創研究企画・創出委員会、先端的異分野共創推進室において、人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命・医学系の**共創研究を創出・育成し、次世代のフラッグシップ拠点へと発展**させる。
- 地域における大学・研究機関との連携をさらに強化**し、研究シーズの共有、設備・機器の共同利用など研究基盤・環境を拡充する。

## KPI

- Top10%論文数(累計)  
〔構想全体のKPIと同様〕  
R4 : 190報 → R7 : 808報
- 国際共著論文数(累計)  
R4 : 740報 → R7 : 3,284報

## デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパーク構想



## 日本最大のバイオメディカルクラスター「神戸医療産業都市」



約380の先端医療の研究機関、高度専門病院群、企業や大学の集積する日本最大のバイオメディカルクラスターにおいて、デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパーク構想を展開

### 主な参画機関・施設

#### メディカルクラスター

- 神戸市立医療センター中央市民病院
- 神戸アイセンター
- 神戸低侵襲がん医療センター

#### バイオクラスター

- 理化学研究所
- 先端医療研究センター
- 甲南大学先端生命科学研究所

#### シミュレーションクラスター

- 理化学研究所計算科学研究センター(スーパーコンピュータ「富岳」)
- 高度計算科学研究支援センター

#### レンタルラボ・インキュベーション施設

- クリエイティブラボ神戸 (CLIK)
- スタートアップ・クリエイティブラボ (SCL)
- 神戸バイオメディカル創造センター



## これまでの実績

- 理系の先端4分野と本学の強みの社会科学分野を融合した「科学技術イノベーション研究科」を新設。
- 医工学の研究成果を基に、大学院の「デジタル医工創成学コース」を新設。
- 全学における価値創造教育のプラットフォーム「Value School」を立ち上げ。
- 「数理・データサイエンスセンター」の拡充により、全学的にデジタルリテラシーを涵養。
- 大学院博士支援室を設置し、次世代卓越博士人材育成パッケージを策定。

## 取組内容

### 1) 傑出知を創出する次世代卓越研究者育成システムの構築

- 博士への進学を希望する優秀な学生に、手厚い研究指導、修学期間の短縮、修士からの経済的支援など、修士から博士までのシームレスな教育システムとして **M&D卓越研究者一貫支援・養成プログラム**を構築する。
- 高等学術研究院に、国内外の優秀な若手研究者を呼び込む**手厚いテュアトラック制度と卓越教員制度**を新設するほか、若手教員を採用する学域にインセンティブポイントを措置することで、**若手研究者の雇用を拡充**する。また、共創志向を高めるために、若手研究者の共同研究・受託研究への参画を推進する。

### 2) 異分野共創教育を推進する大学院教育体制の改革

- 大学院教育のマネジメント体制を改革し、異分野共創による**大学院共通科目を創設・実施**する。
- 次世代卓越博士人材育成パッケージ**を充実させ、共同研究への参画やデータサイエンスなどのトランスファラブルな知識・スキルを身につけるための教育を実施する。
- 重点領域の一つである医工学の研究成果を基に、**新たな専攻（博士前期・後期課程）**を設置して、医療システム・機器開発を先導する創造的研究開発人材を養成する。

### 3) アントレプレナーシップを備えた有能人材の育成

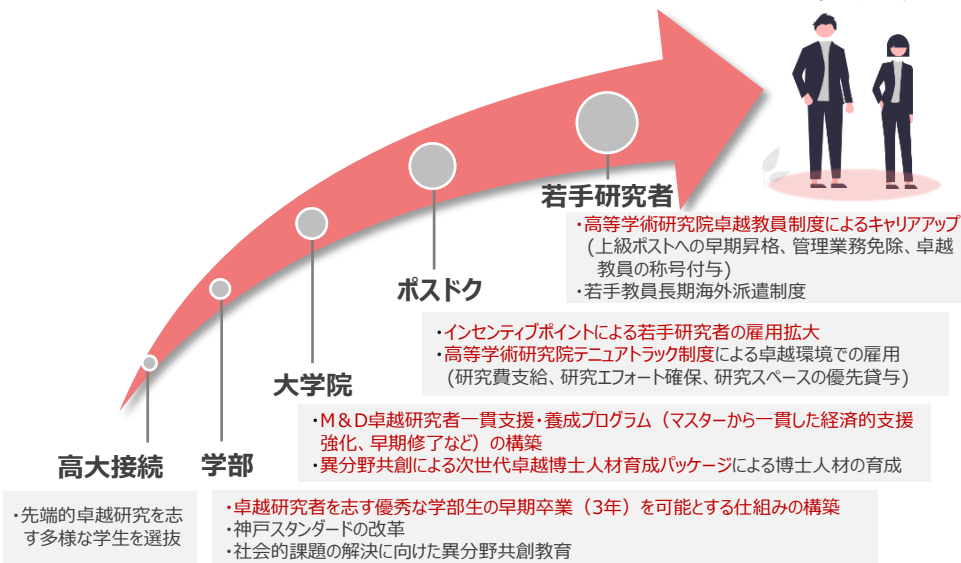
- 社会科学分野の強みをはじめ学内の多様な教育資源を活用し、**新たな体系的なアントレプレナーシップ教育体制を構築**し、挑戦する姿勢を持ち、新しい価値を創造できる人材を育成する。

## KPI

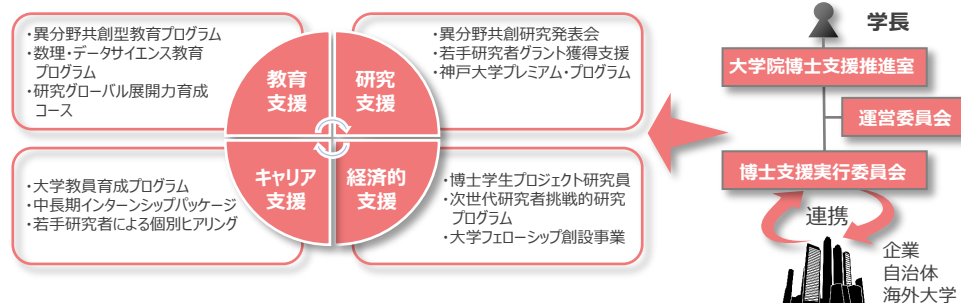
- M&D卓越研究者一貫支援・養成プログラムの学生数  
R4 : 0人 → R7 : 20人
- 若手研究者（博士学生を含む）の共同研究・受託研究参画人数  
R4 : 216人 → R7 : 246人
- 高等学術研究院テュアトラック制度雇用者数  
R4 : 5人 → R7 : 20人

## 傑出知を創出する次世代卓越研究者育成システム

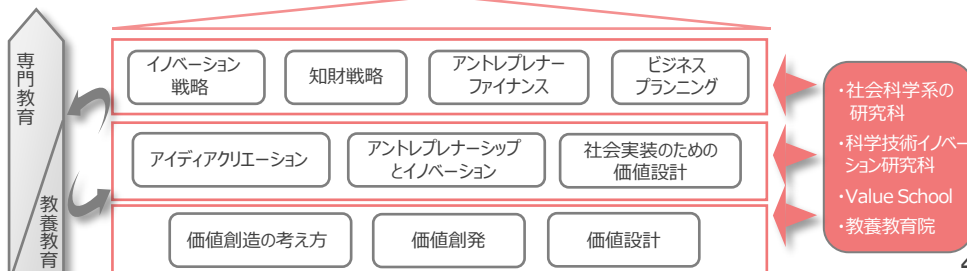
次世代卓越研究者



## 異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト



## 体系的なアントレプレナーシップ教育



## これまでの実績

- ・本学発のシードアクセラレータである(株) 科学技術アントレプレナーシップ (STE社) を設立。
- ・オープンイノベーション機構整備事業を推進するとともに、(株) 神戸大学イノベーション (KUI社)、(株) 神戸大学イノベーションプラットフォーム (KUIP社) を設立し、大型・組織的共同研究、技術移転、起業支援を強化。
- ・実践的なアントレプレナー教育や起業支援を行う「アントレプレナーシップセンター」を立ち上げ。

## 取組内容

### 1) 産業界・自治体と連携したベンチャー(スタートアップ)創出、イノベーションクラスター形成

- シード段階での支援を行う神戸大学GAPファンドを拡充するとともに、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムのもとで、協定を締結している神戸市及び三井住友銀行などと連携し、アーリー段階のベンチャーを支援する神戸大学ファンドの運用を開始する。
- 金融機関やベンチャーキャピタル出身者による取締役会の強化、経験豊富な人材の受け入れを通じ、ファンドの運営を行うKUI社、KUIP社のガバナンス体制を強化する。
- 資金面のみならず、KUI社が経営指導・支援などについても伴走し、大学発ベンチャーの創出・成長を加速する。
- アントレプレナーシップセンターを強化し、実践的なアントレプレナー教育と起業・成長支援をつなぐ役割を持たせることで、シームレスなベンチャー創出支援体制を構築する。

### 2) 知的アセットのマネタイズを可能とする知財マネジメント

- 戦略企画室における知財化戦略に基づき、産官学連携本部とKUI社が連携して、知財の経済性評価や産業界への技術移転支援などの知財マネジメントを迅速に実行し、知財の活用を促進、知財収入を増加させる。

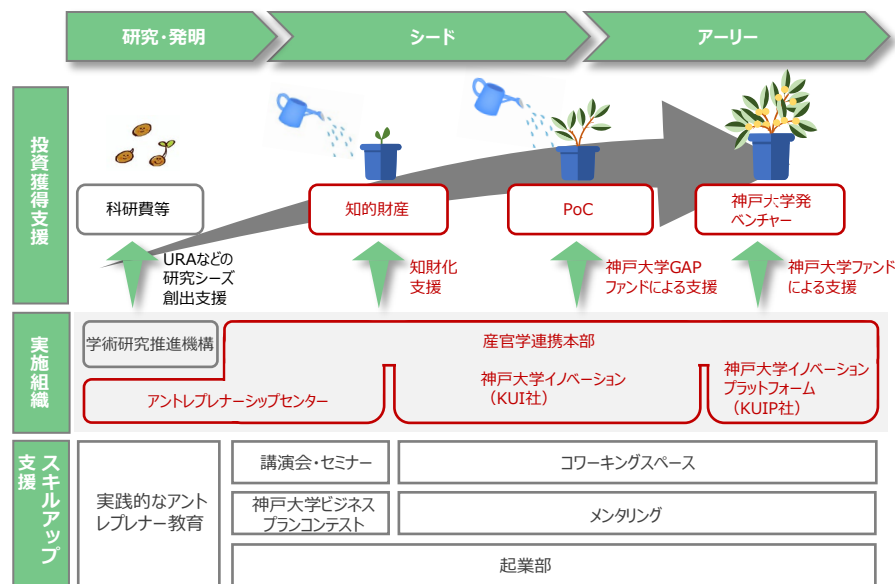
### 3) ステークホルダーとの対話と共創の強化

- デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパークにおいて、イノベーションクリエーター(知財マネージャー、産学連携コーディネーター等)が、ステークホルダーと対話しながら、シーズ創出から社会実装までを強力に推進する。
- ステークホルダーとの対話・共創を全学的に促進する産官学共創プラットフォームを設立し、社会的ニーズを顕在化・共有、研究シーズ集の充実によるシーズの見える化を行い、産官学共創により、社会実装を加速するとともに、教育事業を実施する。
- 顕在化した社会的ニーズを、KUI社のプロジェクトマネジメント力により、「組織」対「組織」の戦略的共同研究として展開し、さらに人文社会科学分野の知も活用して、大型の共同研究やビジネスに発展させる。
- 数理・データサイエンスセンターにおいて、AI・数理・データサイエンスなどのリカレント教育を実施する。さらに、社会的ニーズを踏まえて、様々なリカレント教育を順次拡大させる。

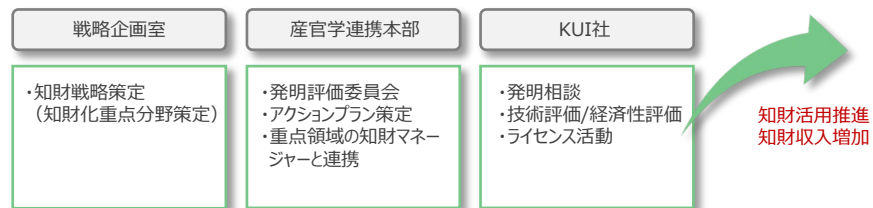
## KPI

- ・大学発ベンチャー新規起業数(累計) R4: 4社 → R7: 21社
- ・共同研究・受託研究費(治験を除く) R4: 53億円 → R7: 60億円

## 神戸大学発ベンチャー創出スキーム



## 知的アセットのマネタイズを可能とする知財マネジメント



## 大型共同研究の創出

